

半世紀の活動に大きな荣誉 芸協に河北文化賞

～多年にわたり、宮城県の芸術界発展に寄与～



河北文化賞の荣誉に輝いた受賞者。左端は大場尚文理事長



公益社団法人
宮城県芸術協会
(郵便番号 980-0802)
仙台市青葉区二日町16-1
二日町東急ビル5-B
電話 (022) 261-7055
FAX (022) 214-5184
E-mail:miyagi-geikyo@sunny.ocn.ne.jp
発行者 大場 尚文

題号の背後にある芸協のシンボルマーク「雲」は、様々な分野の芸術家達がふんわり集まり、巻雲のように盛り上がりつつ纏まった姿を表す。創設当初の理事安倍郁二氏によるデザイン。

創立50周年を迎えた当協会は、平成26年文化の日表彰（教育文化功労）を受賞した。授賞理由は「多年にわたり芸術文化に関する事業を行い、本県の芸術文化界を纏め、牽引し、本県における芸術文化の発展と振興に寄与した」功績による。

昨年10月30日に東京エレクトロンホール宮城で行われた表彰式には大場尚文理事長と隼石隆子執行理事が出席し、大場理事長が村井嘉浩知事から表彰状を受け取った。

秋には文化の日表彰も受賞

当協会は1964年の設立以来、「芸術は個人の問題」との理念を堅持。個人参加を原則とした在野精神を50年間貫き通し、2013年に公益社団法人として認定された。

式後の茶話会では、推挙者である宮城県知事代理の若生正博副知事から、当協会のこれまでの活動に対する賛辞と今後への期待が述べられた。

贈られる。今年の受賞者は、当協会のほか、2014年ソチ五輪のフィギュアスケートで金メダルを獲得した仙台市出身の羽生結弦選手ら個人4人。

350人の出席者から祝福を受けた。河北文化賞は東北の学術、芸術、体育、産業、社会活動の各分野で顕著な功績を挙げ、東北の発展に尽くした個人・団体に贈られる。

大場理事長は受賞後のスピーチで「創立時の気高い志を持ち続け、郷土の芸術文化振興の奉仕者として今後も芸術活動を通して社会貢献に取り組みたい」と抱負を述べた。

創立50周年の宮城県芸術協会にまた一つ、大きな勲章。第64回（2014年度）河北文化賞が当協会に贈られ、河北新報創刊記念日の1月17日、仙台市青葉区の仙台国際ホテルで行われた贈呈式で、東北各界からの約350人の出席者から祝福を受けた。

審査経過の報告に続いて、受賞者に本賞の賞牌と副賞の金一封が贈られた。

贈呈式には、当協会から大場尚文理事長と隼石隆子執行理事が出席。河北文化事業団による

の認可を受けた後も宮城県、ひいては東北の芸術文化の興隆のための奉仕者として活動してきた。この点が高い評価を得て、今回の受賞につながった。

第51回宮城県芸術祭が閉幕

公募展も定着し大きな成果

平成26年9月26日、せんだいメディアアテークを会場に開幕した第51回宮城県芸術祭は、多くの成果を挙げて11月27日、ホテルメトロポリタン仙台で閉会式を行った。

当日は各賞の受賞者をはじめ、芸術協会の会員、主催団体関係者、来賓ら約290人が出席した。

芸術祭会長の大場尚文宮城県芸術協合理事長によるあいさつでスタート。大場会長は「9月26日から開催された芸術祭は、県・市民と楽しく交流の出来た2カ月間だった。絵画、彫刻、写真の公募展が定着し、今年は文芸の公募や、華道部の活動などで大きな成果が得られた。芸術の目指す芸術文化の継承に真摯に取り組み、豊かな文化地域を共に作り上げて行こう」と述べた。

引き続き芸術祭名誉会長・奥山恵美子仙台市長の挨拶(代読)があり、主催七団体代表者、来賓が紹介された。

次に各受賞者の表彰が行われ、67人に賞状と記念品が贈られた。

また、宮城県芸術協会功績者27人の表彰も行われ、大場理事長から表彰状と記念品が授与された。

このあと地域文化功労者文部科学大臣表彰を受けた二人の会員と、宮城県文化の日表彰(教育文化功労)を受けた四人の会員が紹介され、大場理事長から記念品が手渡された。

祝宴は「力雅彦河北新報社代表取締役社長挨拶(代読)」でスタート。各部門を超えての歓談で交流がさらに深まり、華やかで有益な2時間であった。

功績者27人を表彰

芸術祭閉会式では、華道部4人、洋楽部2人、邦楽部10人、茶道部11人の計27人の会員が功績者表彰を受けた。受賞者は次のとおり(敬称略)。

〔華道部〕高橋香風(小原流) 西村一観(清泉古流) 三塚雅光(草月流) 勝野一京(本原遠州流)

〔洋楽部〕鶴岡たみ子、若生智彦〔邦楽部〕岩崎郷山、遠藤操馨、大竹琮園、鎌田呂霊、三浦韻山(三曲)、杵家七可穂、杵家七可藍、杵家弥登綾、小野徳子、丸子玲子(長唄)

〔茶道部〕小田宗英、櫛田宗千、高橋宗葉(表千家) 菊池宗篤、田村宗京(裏千家) 星清華(三彩流) 庄司宗時、嶺岸宗誠(宗偏流) 大友南芳、鈴木南知(織田流) 三浦仙陽(大日本茶道学会)

第51回宮城県芸術祭来場者数

事業名	来場者数
開会式	75
華道展	2,905
写真展・写真公募展	2,533
彫刻展・彫刻公募展	2,689
書道展	3,703
工芸展	1,742
絵画展(公募の部)	2,689
絵画展(会員展)	6,387
絵画展(役員50周年企画)	3,192
芸術ふれあい広場Ⅳ	720
文学散歩	41
長唄演奏会	205
茶会	3,983
文芸祭	119
音楽会	529
工芸展柴田展	420
絵画・書道展東松島展	423
閉会式	288

参加行事

事業名	来場者数
第58回仙台三曲協会定期演奏会	336
第45回洋舞公演	1,064

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年の創立50周年記念事業「芸術ふれあい広場Ⅳ」、「半世紀の精華」は、これまでにない大規模なコラボレーションによる公演となり、満場の喝采を浴びました。観客は満足感、出演者は達成感、味わうことができた素晴らしい事業ではなかったかと思っております。

また、昨年は芸術協会の50年にわたる活動が高く評価された年でもありました。10月に宮城県文化の日表彰(教育文化功労)を受賞したのに続き、年末には河北文化賞の受賞が決まり、思いがけない「名誉ある恩典」に浴びることができました。これは創立以来、会員が「一丸」となっており「無私の情熱」で芸術文化の振興に努めてきた成果の賜であります。諸先輩にあらためて敬意

「新たな一歩を力強く」

宮城県芸術協合理事長
大場 尚文



を表するとともに、皆さんと榮譽を喜び合いたいと思います。今年未年。「未」という字には「発展」とか「無限の可能性」という意味が込められているそうです。芸術協会は100周年に向けて、新たな一歩を力強く踏み出す年にしたいものです。

芸術協会の活性化と云えば事業の拡大をイメージしますが、大きく飛躍するためには、現在の事業をしっかりと見つめ直し、足元をより強固なものにする必要があります。事業の拡大による質的低下は許されません。これまで取り組んできた事業を丹念に磨き上げることこそが、新たな発展の大きな推進力になるものと信じております。会員の皆様には、健やかであり豊かな未来になりますよう祈念いたします。

第 51 回宮城県芸術祭受賞者(会員)

	部 門	作 品 名	氏 名	
宮城県芸術祭賞	彫刻部	メルトダウン	早坂修 (大崎市)	
	写真部	Quiet Light	小出一郎 (大崎市)	
	工芸部	蒼空 (陶芸)	大江文彦 (仙台市)	
	書道部	佐藤慶子のうた (近代詩文)	柳由美子 (仙台市)	
	絵画部 (日本画)	春もみじ	佐々木智朗 (仙台市)	
	絵画部 (洋画)	雨音	其田章 (仙台市)	
	文芸部	初夏・蝶 - 生者は死者の湖である (詩)	前原正治 (利府町)	
宮城県知事賞	彫刻部	B O L E R O	永倉香名子 (仙台市)	
	写真部	郷愁	渡部うめ子 (仙台市)	
	工芸部	線文象嵌焼締壺 (陶芸)	島見美由紀 (岩沼市)	
	書道部	はるされば… (かな)	西條玉静 (仙台市)	
	絵画部 (日本画)	遠き想い	三浦孝 (大崎市)	
	絵画部 (洋画)	荒れた林	和田三夫 (仙台市)	
	文芸部	かげろうの約束 (詩)	吉田秀三 (仙台市)	
	文芸部	棕櫚の木 (短歌)	鈴木昱子 (仙台市)	
	文芸部	天の川 (俳句)	畑中次郎 (仙台市)	
	文芸部	黄昏の慕情 (川柳)	唐木ひさ子 (仙台市)	
	文芸部	天明の飢饉の後で-大番士津志八右衛門の場合-(小説)	宇津志勇三 (仙台市)	
仙台市長賞	書道部	騎虎之勢 (篆刻)	村山柳雅 (仙台市)	
	絵画部 (日本画)	深気	新藤圭一 (仙台市)	
	絵画部 (洋画)	p r o l o g u e	鈴木千津 (石巻市)	
河北新報社賞	彫刻部	青春の道標	赤井靖武 (塩竈市)	
	写真部	惜春	竹内加代子 (石巻市)	
	工芸部	夢をみる (染織)	桑原恵美子 (仙台市)	
	書道部	呉鼎芳の詩 (漢字)	無着孝章 (名取市)	
	絵画部 (日本画)	朝な朝な	橋本道代 (仙台市)	
	絵画部 (洋画)	遙か	小野由貴子 (仙台市)	
	文芸部	M サ イ ズ (川柳)	岩渕たか (仙台市)	
宮城県教育委員会教育長賞	工芸部	有線七宝幾何文水指 (七宝)	高橋とも子 (仙台市)	
	書道部	希光 (墨象)	伊澤香雨 (石巻市)	
	絵画部 (洋画)	ELEMENTS-生起・内観・輪廻	齋藤正和 (仙台市)	
宮城県教育委員会教育長新人賞	工芸部	結晶釉花入 (陶芸)	加藤晋 (仙台市)	
	書道部	羊士諤詩 (漢字)	末永瑞鳳 (東松島市)	
	書道部	水離る (近代詩文)	小嶋カズ子 (仙台市)	
	絵画部 (日本画)	時	河野尚枝 (仙台市)	
	絵画部 (洋画)	L a n d s c a p e	町田美野 (名取市)	
仙台市教育委員会教育長賞	書道部	極 (少字)	尾形澄神 (仙台市)	
	絵画部 (洋画)	u n - t i t l e d	本田崇 (大河原町)	
宮城県議会議長賞	書道部	季頌詩 (漢字)	奈須野青蘭 (栗原市)	
	絵画部 (洋画)	残像「過去・現在・未来」	安達吉男 (仙台市)	
仙台市議会議長賞	書道部	秋日 (漢字)	熊谷鳳苑 (石巻市)	
	絵画部 (洋画)	室内風景	林しづ子 (仙台市)	
公益財団法人宮城県文化振興財団賞	写真部	立華風体	吾妻克美 (大河原町)	
	工芸部	雫 (陶芸)	佐藤英子 (仙台市)	
	書道部	近作二顆 (篆刻)	藤野秀一 (多賀城市)	
	書道部	宗左近の詩から (近代詩文)	大友さか子 (名取市)	
	書道部	空 (クウ) (墨象)	大内翠峰 (涌谷町)	
	絵画部 (洋画)	森のステージ	其田マサ (仙台市)	
	文芸部	余苗 (俳句)	赤間学 (仙台市)	
	絵画部 (日本画)	一隅	佐藤松子 (仙台市)	
公益財団法人カメイ社会教育振興財団賞	絵画部 (洋画)	刻は巡る	堀井明美 (仙台市)	
	彫刻部	女 2 0 1 4	板持彰 (仙台市)	
菅野美術館賞 門伝勝太郎賞	書道部	透徹 (少字)	横山桂子 (仙台市)	
	絵画部 (洋画)	甦る記憶 - 美しい時間	松宮榮典 (仙台市)	
宮城県芸術祭奨励賞	写真部	闇夜の葦	昆野三津男 (気仙沼市)	
	写真部	百樹晩秋	西條きみ子 (仙台市)	
	書道部	厲鶚詩冷泉亭 (漢字)	泉承山 (仙台市)	
	書道部	嫩煌 (近代詩文)	佐々木一峰 (大崎市)	
	書道部	雑詩二首 (朱彝尊詩) (漢字)	佐々木芝翠 (仙台市)	
	書道部	袁宏道詩 (漢字)	佐藤象雲 (仙台市)	
	書道部	重い火 (近代詩文)	鈴木承琳 (仙台市)	
	書道部	とおく (墨象)	西館四草 (仙台市)	
	絵画部 (洋画)	風の譜 - 序曲	佐野福代 (仙台市)	
	絵画部 (洋画)	無題	伊藤宏子 (仙台市)	
	絵画部 (洋画)	ある日、あるとき	大西ちい子 (仙台市)	
	文芸部	何処へ (短歌)	塔原武夫 (仙台市)	
	宮地房江賞	工芸部	草木染着物“浦波” (染織)	安倍まゆみ (仙台市)

芸協・県民会館創立50周年連携事業

盛大に「半世紀の精華」

宮城県芸術協会・宮城県民会館創立50周年連携事業として、公益財団法人宮城県文化振興財団・韓国芸術文化団体総連合会大邱広域市連合会との共催による「半世紀の精華」が11月1日、東京エレクトロンホール宮城で開催された。

多彩なステージが披露された。第三部では国内外への貢献／仙台・大邱国際交流／出会い、今この瞬間と題して、大邱訪問団による迫力ある現代舞踊や音楽演奏が記念事業に華を添えた。

公演の第一部では芸術家集団の誕生と題して日本舞踊、長唄、尺八のコラボレーションなどとピアノ演奏が行われた。

個性の表出と題した第二部では、躍動感あふれるバレエやペー・トーヴェンのピアノ協奏曲など、第四部では大震災を乗り越えて／希望のひかりと生きる歓びと題して、混声合唱組曲「希望の灯火」が今回のために編成された50周年記念合唱団、50周年記念オーケストラによって演奏が披露されたほか、文芸部による朗読もこれに加わった。

宮城県芸術協会・宮城県民会館創立50周年記念事業
仙台・大邱国際交流事業

半世紀の精華

2014年11月1日(土) 開場 13:30 開演 14:00
東京エレクトロンホール宮城

プログラム

第一部 芸術家集団の誕生～輝きた芸術文化のひかり～
30周年を祝して
日本舞踊：長唄「尺八のコラボレーション」(越後獅子)
日本舞踊：長唄「舞臺の鼓」より
バレエ：小島由里子

第二部 個性の表出～12部門の絆による感動～
バレエと洋楽のコラボレーション「チャイコフスキー作曲：バレエ音楽「くるみ割り人形」抜粋 他
バレエ：クレール・ル・ヴェアトリエ、ピアノ：平岡百合子
ペー・トーヴェン作曲：ピアノ協奏曲第5番「皇帝」より 第1楽章
ピアノ：田原さえ、指揮：渡部 勝彦、管弦楽：50周年記念オーケストラ

第三部 国内外への貢献／仙台・大邱国際交流～出会い、今この瞬間～
現代舞踊「empathy (感情移入)」 舞臺：イシノテ、イシノギ
～声楽の響き～ アンソール、ソプラノ、バリトン、ソプラノ&テノール二重唱、全員合唱
ソプラノ：イ・ファンギ、テノール/バスソング：テノール、ハル・シンハ
バリトン：イ・インチュル、ピアノ：イ・ファンギ

第四部 大震災を乗り越えて～希望のひかりと生きる歓び～
原田真由子、大田和夫の朗読、大田和夫、吉川 和夫の朗読
混声合唱組曲「希望の灯火」 朗読：電音 隆子
ソプラノ：北村 裕子、渡部 シュタイム、アルト：佐藤 園子
テノール：松尾 英章、バリトン：大崎 健二
合唱：50周年記念合唱団、管弦楽：50周年記念オーケストラ
原田真由子、大田和夫の朗読、大田和夫、吉川 和夫の朗読 (50周年記念委嘱作品)

朗読進行 渡部 勝彦

主催 公益財団法人 宮城県芸術協会 / 公益財団法人 宮城県文化振興財団
韓国芸術文化団体総連合会大邱広域市連合会

チケット販売 東京エレクトロンホール宮城 / ヤマハリテイニング 仙台店 / カワイミュージックショップ 仙台 / 仙台三越 / 備前
お問い合わせ TEL. 022-261-7055 公益財団法人 宮城県芸術協会事務局



幕開けとなった邦楽部と舞踊部による「越後獅子」



観客を魅了した大邱訪問団の音楽演奏

フィナーレは50周年記念委嘱作品として文芸部の原田真由子氏が作詞し、洋楽部の吉川和夫氏が作曲した宮城県芸術協会50周年記念賛歌「しなやかな心で」の大合唱が会場を覆った。四部構成の公演は4時間に及

び、885名の観衆を魅了した。公演終了後、仙台市青葉区の「アークホテル仙台青葉通り」で、柳肇佑会長をはじめとする16名の大邱訪問団と芸術協会会員との交流懇親会が和やかに行われた。

来年度は絵画・写真展

大邱との交流事業

昨年10月31日、当協会と芸術交流を続けている韓国芸術文化団体総連合会大邱広域市連合会の訪問団16人が来仙。翌11月1日には東京エレクトロンホール宮城で催された芸協創立50周年記念事業を兼ねた交流公演「半

世紀の精華」に出演した。大邱訪問団の公演は「半世紀の精華」の第三部に組み込まれ、素晴らしい現代舞踊や圧倒的な音量を誇る声楽、軽快なサクソホンの演奏で観客を魅了した。また、公演に先立って行われ

た交流協議では、平成27、28年度は「絵画・写真展」での交流とすることが決まり、大場尚文理事長と大邱の柳肇佑会長が協定書を取り交わした。

訪問団一行は、公演翌日の11月2日に特別名勝松島や韓国とゆかりの深い涌谷町の天平ろまん館を訪れ、3日に帰国した。

光のページェントに合わせ 写真展や絵画展も

定禅寺通りが光のページェントで賑わう昨年12月、東京エレクトロンホール宮城で絵画展と写真展が開催された。当協会と県民会館がともに創立50周年を迎えたことを記念して両団体が連携して開催したもので、光のページェントを見に来た方々にも気楽に芸術に触れてもらおうと、午後八時まで開館した。

写真展は一般公募作品による「定禅寺通りフォトコンテスト展」で、12月12日から18日まで。

絵画展は「第51回芸術祭絵画展受賞者展・20代新鋭作家による絵画展」として、12月19日から25日まで開催され、多くの来場者が観覧した。

芸協創立50周年記念事業第1弾は、「芸術ふれあい広場パートⅣ」と題し、10月4、5の2日間に亘ってせんだいメディアテークで開催された。華道、書道、茶道、絵画、文芸、洋楽、邦楽、舞踊、演劇のコラボレーションで構成された企画は、個性豊かな芸術性溢れる演目が続き、当協会ならではの魅力的な発表となった。

なかでも特筆すべき企画は、みか紹介され、幕開けに「越後獅子」が、日本舞踊と邦楽部長唄のコラボで華麗に上演された。祝賀を飾るに相応しい演目となった。第二部のピアノ協奏曲や第三部の韓国芸術家による発表も、聴衆の感動を誘う素晴らしいものであった。また、第四部の混声合唱組曲「希望の灯火」は、特別に編成されたオーケストラと約120名の混声合唱団に加え、朗読と5名のソリスト

創立50周年記念事業を終えて

執行理事 渡部 勝彦



初日冒頭で展開された14流派合同による華道部の活け込み実演で、ステージ一面に活けられた見事な創作作品が来場者に強烈な印象と感動を与えた。

11月1日に実施された記念事業第2弾「半世紀の精華」(宮城県民会館との共催事業)は、20回目を迎えた仙台・大邱国際交流事業を組み込んだ4部構成の大規模な企画となった。最初に司会の藤沢智子東北放送アナウンサーによって協会50年の歩

から成る壮大な演奏で聴衆を魅了した。4時間弱の公演にもかかわらず、約千人の殆どの観客に最後まで鑑賞して頂けたこと、当初目標よりはるかに多いチケット販売を実現できたことは、記念事業部会の代表世話人として安堵に足る結果となった。両事業の出演者および、チケット販売にご協力いただいた会員諸氏に、この場をお借りして御礼を申し上げます。

地域文化功労者文科大臣表彰

大友青陵・渡邊榮両参事が受賞

全国各地域において芸術文化の振興などに功績のあった個人及び団体に対し、その功績を讃えて文部科学大臣が表彰する平成26年度地域文化功労者表彰は、11月6日に東京・霞が関の文部科学省で表彰式が行われ、当協会からは書道部の大友青陵参事と工芸部の渡邊榮参事の2人が表彰された。

大友参事は「永年にわたり、全国各地域において芸術文化の振興などに功績のあった個人及び団体に対し、その功績を讃えて文部科学大臣が表彰する平成26年度地域文化功労者表彰は、11月6日に東京・霞が関の文部科学省で表彰式が行われ、当協会からは書道部の大友青陵参事と工芸部の渡邊榮参事の2人が表彰された。」

芸協50周年史を刊行

当協会は平成26年、創設の昭和39年から満50年を迎え、「芸協五十周年史」を発行した。周年史は10年ごとにまとめられているが、前年の25年に公益社団法人の認可を受けて新しい歴史もスタートしたことから、従来とは少し異なる内容も盛り込まれたものとなった。

170ページ。過去10年間の歩みのほかに、公益社団法人への衣替えや事務所移転などについて詳しく述べている。

芸協からは4氏

県文化の日表彰

第一面に掲載したとおり、宮城県の平成26年文化の日表彰で当協会が表彰されたが、会員では教育文化功労の分野で次の4氏が選ばれ、昨年10月30日に東京エレクトロンホール宮城で村井嘉浩宮城県知事から表彰を受けた(敬称略)。

- 伊藤宗圭(茶道部・江戸千家)
- 坂内佳禰(文芸部・俳句)
- 建部恭子(書道部)
- 橋本昌彦(工芸部・陶芸)

今年度は12校で実施

書道部の講師派遣事業

書道部は、人材育成の一環として県内の小・中学校を対象に実施している講師派遣事業を平成26年度は12校で実施した。

本年度も11月から12月にかけて派遣を希望する学校が多く、子どもたちは書道部会員の専門的な指導を受けながら、宮城県小中学校書きぞめ展の課題などに真剣に取り組んだ。

書道部会員の指導で筆運びを学ぶ利府小学校の子ども達



工芸部

招待作家で3会員が出品

宝塚市手工芸協会と交流

当協会工芸部は昨年11月、宝塚ソリオホールで開催された宝塚市手工芸協会主催の第18回宝塚市手工芸展に招待作家として3人の会員の作品を出品し、交流をはかった。

宝塚市手工芸協会は、工芸、染織、皮革など、手工芸のより高い芸術性を求めて活動している宝塚市の市民文化団体。平成23年の東日本大震災の際には当協会に復興支援金10万円の寄贈を寄せていた。支援金は現在芸術祭工芸部門の宮城県教育委員



会教育長新人賞の副賞に充てられている。今回作品を出品したのは、工芸部の七宝作家である高橋通子参事と佐瀬たか子、高橋とも子の両会員(写真)。展示終了後、宝塚市手工芸協会の秋山文子会長から「作家のお人柄がうかがえる素晴らしい作品の出品に感謝します」というお礼状が届いた。

魁れ東北色紙展パート4
兵庫眞洋画団体と共に開催

当協会絵画部では東日本大震災を機に、兵庫眞洋画団体協議会と合同での絵画作品展(平成25年1月・神戸)や、色紙作品展(平成26年1月・石巻)の開催をとおし、両団体間の交流を深めている。

4回目となる今回は、1月8日から12日の五日間、兵庫県民会館を会場に、色紙作品展を開催。当協会から出品の16点を含む112点の作品を展示。展示作品は作品展の後の1月17日に石巻市内の仮設住宅に贈呈された。

インドネシアのバリ島を訪ねる今年度の海外研修旅行は、11月18日から22日までの5日間、団長の佐々木光一執行理事ら23人が参加して行われた。

常夏のバリ島は10月から雨季。平均33度の最高気温、湿度70%が一行を出迎えた。二日目の19日、ティルタエン

研修旅行 バリ島芸術文化交流の旅 心に残るアート協会の歓迎

文芸部 菊地 栄子



村で世界でも珍しいとされるグリーンシン織を見学。夕食は夕陽を眺めながらロブスターや鯛などの海鮮料理を満喫した。

市場の見学から始まった三日目は、今回の主たる訪問先の、バリ州政府所管のアート協会へ。きらびやかなバリ舞踊の歓迎のもと、双方代表の挨拶。記

ブル寺院へ。人々は沐浴して身体を清めており、ガジュマルの木陰が涼しかった。キンタマーニ高原への街道は緑が深まり、マングローの実がたわわ。多彩なブルメリアの花が煉瓦色の瓦の家々に咲いている。椰子の木、バナナ、タピオカの林など、まさに南国であった。テンガナン

念品の贈呈、記念撮影などに続き、バリ島のアートが総覧できる展示室へ。銀細工・絵画・織物・楽器・仮面・神聖な牛の像などを、心ゆくまで鑑賞した。特に絵画には、善と悪をテーマとするバリ島独自の世界が描かれていて、印象的だった。民族楽器での、スタッフによる童謡

の演奏も心地よく、名残を惜しみながら協会を後にした。

この後、草葺きの民家を見学。調理室・寝室・米蔵などの独立した配置、戸窓のない居間と思われる部屋の開放感などが特徴だ。庭には五つも六つも祭壇が祀られ、ヒンズー教の信仰の深さを垣間見ることができた。レゴンダンスの眼と指の独特な仕種、打楽器の音色も夢のような一夜となった。

連日宿泊したホテルは五つ星。宿泊棟は池・噴水・プール・レストランを囲み、全体が海へと向かうロケーションであった。主食の米はタイ米系で、炒飯などの焼き飯は違和感がなく、美味しかった。

詳しくは触れないが、人の埋葬方法についてはショックで体が震えた。果物では「スネークフルーツ」、花では「ヌサインガ」を挙げておきたい。

◇バリ島にて◇

原田夏子(文芸部)

舞姫の黒き瞳の動くとき両手の白き指撓ふとき

石工らの休まず振ふ鑿のさき浮かび出づるはみ佛の笑み

収支バランスのとれた予算を

来年度予算の編成方針を承認

第 4 回理事会

平成 26 年度第 4 回理事会が昨年 12 月 12 日に開かれ、平成 27 年度予算編成方針などが承認された。

当協会ではこの 4 年間、事務局移転に伴う経費増、震災復興支援関係事業の展開、第 50 回芸術祭記念事業の実施、創立 50 周年関係の記念式典、記念行事、記念誌発行などが続き、単年度収支では支出が収入を上回る赤字決算が続いていた。

理事会では、記念事業等が一段落した平成 27 年度は通常年ベースに戻し、単年度収支で黒字となる収支バランスがとれた予算とすること、剰余金は今後の記念事業のための資金として積み立てること、などの基本方針が提案され、全会一致で承認された。

提案の主旨は以下のとおり。
【収入に対する考え方】
芸協の 50 年にわたる活動実績による社会的認知と、公益法人としての役割を果たすために、以下の取り組みを強化する。

① 会員の拡大
② 賛助会員の拡大
③ 協賛金・助成金等の拡充
④ 芸術祭におけるチケット販売と広告料等の拡充

⑤ 法人運営のベースとなる固定費（事務所管理費等）・物的コスト（通信運搬費、消耗品費、印刷製本費等）、人的コスト（人件費・旅費交通費・会議費等）

⑥ 新規事業については、県の承認を要することから、事業内容、収支見込み、事業の定着見通しなどを案の段階からの執行部への相談が必須となる。

【支出に対する考え方】
① 全体事業予算は通常年ベースの予算を基本とし、予算の範囲内でさらに深化した事業となるよう取り組みを工夫する。
② 芸術祭巡回展、海外芸術団体との交流事業、研修旅行については、今後も協会役員や対象部門などと協議しながら事業内容、費用対効果、今後の方向性などを検討し、予算の見直しを行う。

③ 法人運営のベースとなる固定費（事務所管理費等）・物的コスト（通信運搬費、消耗品費、印刷製本費等）、人的コスト（人件費・旅費交通費・会議費等）

の効率化を図る。

④ 各部事業についてはスクラップ&ビルドによる事業の見直しを進め、各部門の人材を最大限活用しながら幅広い年齢層に受け入れられる魅力ある公益的事業への取組みを強化していく。

カメイ美術館共催絵画展
テーマは「選ばれし作品の軌跡」
当協会とカメイ美術館の共催による、本年度通算 6 回目となる絵画展「選ばれし作品の軌跡」展が、2 月 3 日（火）から 3 月 15 日（日）まで仙台市青葉区のカメイ美術館で開催される。

校の金管バンドとパツハホール管弦楽団管楽奏者とのコラボ作品の演奏、第二部が加美町に古くから伝わる民俗芸能和太鼓と合唱の演奏、第三部が芸協会員による弦楽四重奏と弦楽合奏に加え、ヴァイオリン独奏とテノール・バリトンの独唱、第四部はパツハホール管弦楽団と芸協会員とのコラボレーションによる独奏や演奏となる。

⑤ 各部の事業予算でこれまで執行実績のない科目については予算の減額または削減に努める。

今回は平成元年から 13 年までの宮城県芸術祭絵画展の日本画、洋画の各部門における芸術祭受賞作品 22 点を展示する。昭和を終え、平成が始まった 13 年間の芸術祭絵画展の軌跡、その集約ともいえる作品展として、多くの来場者が期待される。

本年度 35 回目の開催となるピアノコンクールを予選 2 月 15 日（会場・仙台市戦災復興記念館）、本選 3 月 25 日（仙台市宮城野区文化センター）の日程で開催する。

⑥ 新規事業については、県の承認を要することから、事業内容、収支見込み、事業の定着見通しなどを案の段階からの執行部への相談が必須となる。

【収入に対する考え方】
① 全体事業予算は通常年ベースの予算を基本とし、予算の範囲内でさらに深化した事業となるよう取り組みを工夫する。

② 芸術祭巡回展、海外芸術団体との交流事業、研修旅行については、今後も協会役員や対象部門などと協議しながら事業内容、費用対効果、今後の方向性などを検討し、予算の見直しを行う。

③ 法人運営のベースとなる固定費（事務所管理費等）・物的コスト（通信運搬費、消耗品費、印刷製本費等）、人的コスト（人件費・旅費交通費・会議費等）

④ 各部事業についてはスクラップ&ビルドによる事業の見直しを進め、各部門の人材を最大限活用しながら幅広い年齢層に受け入れられる魅力ある公益的事業への取組みを強化していく。

⑤ 各部の事業予算でこれまで執行実績のない科目については予算の減額または削減に努める。

⑥ 新規事業については、県の承認を要することから、事業内容、収支見込み、事業の定着見通しなどを案の段階からの執行部への相談が必須となる。

【収入に対する考え方】
① 全体事業予算は通常年ベースの予算を基本とし、予算の範囲内でさらに深化した事業となるよう取り組みを工夫する。

② 芸術祭巡回展、海外芸術団体との交流事業、研修旅行については、今後も協会役員や対象部門などと協議しながら事業内容、費用対効果、今後の方向性などを検討し、予算の見直しを行う。

2 月 15 日 中新田パツハホールで開催

ミュージックフェスタ 2014 in かみまち

洋楽部による「みやぎミュージックフェスタ 2014 in かみまち」が 2 月 15 日（日）、当協会と加美町、宮城県文化振興財団の共催により、中新田パツハホール

で開催される。

本年度は「羽ばたけ未来へ」というテーマで、プログラムは四部で構成される。

内容は、第一部が町内小学校 2

校の金管バンドとパツハホール管弦楽団管楽奏者とのコラボ作品の演奏、第二部が加美町に古くから伝わる民俗芸能和太鼓と合唱の演奏、第三部が芸協会員による弦楽四重奏と弦楽合奏に加え、ヴァイオリン独奏とテノール・バリトンの独唱、第四部はパツハホール管弦楽団と芸協会員とのコラボレーションによる独奏や演奏となる。

ミュージックフェスタは、当協会が県民芸術活動の活性化や人材育成や教育的貢献を目的に地域の教育委員会などと連携して実施している音楽会で、毎回芸協会員と地元の音楽団体が共演する企画が好評を得ている。

予選 2 月 15 日
本選 3 月 25 日

第 35 回ピアノコンクール

予選 2 月 15 日
本選 3 月 25 日

本年度 35 回目の開催となるピアノコンクールを予選 2 月 15 日（会場・仙台市戦災復興記念館）、本選 3 月 25 日（仙台市宮城野区文化センター）の日程で開催する。

審査には洋楽部会員があたり、本選審査員長には外部よりピアノの関孝弘氏を迎える。申し込みは 1 月 13 日に締め切られ、応募者は 75 名となった。

事務局日誌

会務報告

12・5 第51回宮城県芸術祭実行委員会

○第51回宮城県芸術祭実績報告

○各部門からの報告

12・12 理事会

○平成27年度予算の編成方針について

12・19 部長会議

○平成27年度の予算編成方針について

○部長会議の運営について

後援

☆第2回日本画・緑彩会展

11月11日～16日

東北電力グリーンプラザ

☆第38回一般社団法人二科会写真部東北地区公募展

11月28日～12月2日

せんだいメディアアテーク

☆美里町「河北展」

11月29日～12月7日

美里町近代文学館

☆震災復興チャリティ写真展

1月7日～13日

ギャラリー専

☆東北書道新春選抜展

1月16日～21日

せんだいメディアアテーク

☆近藤孝則・萩汀 陶芸と書道の作品展

1月16日～21日

せんだいメディアアテーク

☆和ごころみらいコンサート Vol.1 「春のいぶき」和楽器・洋楽器による」

1月31日

仙台市宮城野区文化センター

☆第74回春のいけばな展

1月31日～2月3日
せんだいメディアアテーク
☆萩岡會仙台北支所箏曲演奏会（波の系譜）
2月15日
イズミティ21

☆第32回白土会展
2月20日～25日
せんだいメディアアテーク

☆華麗なるヨーロッパ 芸術の世界
2月20日
イズミティ21

☆第27回いづみ絵画協会展
2月27日～3月5日
イズミティ21

☆第10回 Dance Competition in Sendai 2015
3月7日～8日
イズミティ21

☆夢見る宇宙と音楽と（音で紡ぐ言葉の花束）
3月12日
日立システムズホール仙台

☆第10回 ALL NIPPON DATE クラシックバレエコンペティション MIYAGI
3月31日～4月2日
日立システムズホール仙台

☆小野恬日本画展
4月3日～8日
せんだいメディアアテーク

☆第78回河北美術展
4月23日～5月5日
藤崎本館

☆和京会展
4月24日～29日
せんだいメディアアテーク

☆子ども村東北支援のための Charity Concert vol.2
4月30日
日立システムズホール仙台

☆第68回二紀展仙台北巡回展
5月1日～6日

会員の入賞・入選など

◇第82回独立展

（洋画）▽佳作賞 星健悦▽入選 安達秀子、大坂祥春、数本奈智子、兵藤洋子、帆苺清治、星健悦、本田崇、町田美野、三浦一博、目黒喜三郎、山形牧子

◇第39回新春芸術展

▽東京都知事賞 中鉢徳子

▽クリティック賞 菊地禮藏

▽評議員推挙 菊地禮藏、中鉢徳子

◇第62回二科会写真部展（本展）

▽入選 尾形昌文

◇第38回二科会写真部東北地区公募展

▽東北地区大賞 尾形昌文▽モリンド賞 佐藤明▽リアスアーク美術館賞 小野寺亨▽ビズネスホテル築館賞 鈴木宏子▽スタジオスマイル賞 庄子紀枝

◇第64回モダンアート展

▽佳作賞 齋藤正和

◇改組新第一回日展入選

（日本画）天笠慶子（洋画）佐藤幸子、原秀一、吾妻篤、佐藤みえ子、関根光次、志賀一男、松永弘（工芸美術）水無瀬守、平澤富子、川北京子（書）高野芳月、加藤松軒

◇第30回河北写真展

▽東北の祭り部門 JAL賞 三塚律子、岩手県知事賞 小住正吾、入選 若生博、菅井真紀子▽東北の風景部門 入選 佐々木章逸、松本隆、佐藤節子、小野寺亨、菅井真紀子▽東北の食部門 入選 菅井真紀子、小住正吾

受贈書

（ ）は寄贈者
宮城の現代詩 2014 / 宮城県詩人

会10年史（宮城県詩人会事務局）、歌集 現世（原田夏子）、きたごち俳句歳時記（柏原眠雨）、「書芸苑」八〇〇号記念 宮城野書人会展（嵯峨大拙）、句集 染師町（屋代ひろ子）、合同歌集 山茶花第六集（大友圓吉）、歌集 鳥は雲から（菊地かほる）、第39回素心會書展作品集（素心書道会）、現代生活語詩集 2014 昨日・今日・明日（牛島富美二）

謹弔

茶道部（三彩流）	杉華芳殿
書道部	平成26年9月16日
書道部	秋元利治殿
書道部	10月23日
書道部	大宮司松翠殿
書道部	11月5日
書道部	佐藤喜峯殿
書道部	11月16日
文芸部（短歌）	伊知地牧殿
文芸部（短歌）	11月
写真部	佐山淳殿
写真部	12月12日

『宮城県芸術協会五十周年史』の訂正

◇66頁下段・67頁上段
第四十九回宮城県芸術祭絵画展 および第五十回宮城県芸術祭絵画展の審査員に「櫻田勝子」を追加

◇82頁上段
川村京子→川北京子
同下段
河北京子→川北京子

けやきの譜

遅まきながら、新年おめでと
うございます。今年未（羊）
年。穏やかな一年になることを
願っている▼昨午（馬）年
はひどかった。暴れ馬ではない
かと思つたほど波乱に満ちた一
年であった。近年の異常気象が
昨年は一層際立って見えた。度
重なるゲリラ豪雨、竜巻の襲
来。狭い国土で象徴的ながけ崩
れ、土砂崩れに地震や予期し得
なかつた火山の噴火も▼年の暮
れには、想定外だったとも言え
る衆院解散、総選挙まで。年末
の国会で第97代首相に指名され
た安倍首相は、選挙で全面的な
支持を受けたとご機嫌だが、そ
れはどうか。中国、韓国との関
係改善は思うようにならず、憲
法改正への前のめりの姿勢も気
になる。こうした時こそ、芸術
文化の出番ではないか、と思う
▼本年度の河北文化賞を当協会
が受賞したのも、そうした期待
がバックにあつたのかも少し
れない。受賞を機に、私たちへ
の期待を背に感じながら、一層
の精進を重ねていくこと。すべ
ての会員に課せられた宿題だと
思いたい。（恂）